

2020年度 第7回 IR 推進センター会議 議事録

日時：2020年10月6日（火）13：00～13：35 ※WEB会議にて実施

出席者：16名

【構成員】

センター長 橋本修二

（医学部）飯塚成志、若月徹、藤江里依子（医療科学部）日比谷信、鈴木康司

（保健衛生学部）山田晃司（大学事務局）濱子二治、山本正樹、島向健太

【協力メンバー】

（看護専門学校）前田初美、園井葉子（広報部）河村孝司

（IT企画開発部）鴻上慶次郎（大学事務局）横田正明、濱島剛（敬称略）

1) 前回議事録の確認<資料1>

前回議事録が確認された。

2) 各分室活動報告<資料2-1～2-3>

- ・医学部 IR 分室より、「医学部5年次における卒業コンピテンス・コンピテンシー到達度調査」、「2019年度卒業生の初期研修先アンケート 現状と3年間の傾向」、「2019年度卒業生アンケート 現状と3年間の傾向」のIR分析報告書が提出された。意見等がある場合は10/13（火）までに連絡をし、一般公開に向けて、教育部会、全学教学運営委員会へ提出する。「本学医学部入学試験の検証」の分析結果の概要が報告された。
- ・医療科学部・保健衛生学部 IR 分室より、「2019年度卒業生を対象とした卒業後アンケート調査結果」、「2019年度全学生を対象としたGPA、成績分布状況及び進級率の分析」のIR分析報告書が提出された。意見等がある場合は10/13（火）までに連絡をし、一般公開に向けて、教育部会、全学教学運営委員会へ提出する。「2019年度卒業生を対象とした各種職種別のディプロマ・ポリシーの到達度調査-就職先評価による-」の進捗状況が報告された。
- ・看護専門学校より、計画された調査の進捗状況が報告された。

3) 学生生活・学修実態調査の計画<資料3>

医学部 IR 分室、医療科学部・保健衛生学部 IR 分室、看護専門学校ともに、計画書のとおり、10月に調査を実施し、12月末までに分析を完了することが確認された。

4) 遠隔授業導入後の試験成績に関する分析<資料4>

計画書に沿って、両分室が関係部署と協力しながら分析し、10月31日までに報告書を提出する。試験成績確定が遅れているケースは関係者が協議して対応する。

5) 医学部卒業生の動向調査<資料5>

医学部卒業生の動向調査（医学部卒業生約4,000名が対象）の進捗状況が報告された。

6) IR活動の2020年度計画の進捗状況<資料6>

IR活動の2020年度計画の進捗状況が報告された。医学部 IR 分室では、既に多くの IR 分析報告書を完了し、追加分（「医学部5年次における卒業コンピテンス・コンピテンシー

到達度調査」、「遠隔授業導入後の試験成績に関する分析」)を含め、順調に進んでいた。医療科学部・保健衛生学部 IR 分室では、既に多くの IR 分析報告書を完了し、残りの調査と分析を準備し、順調に進んでいた。看護専門学校では、今後の予定が報告された。それ以外の IR 推進センターの課題は、計画の通りに進んでいた。「授業科目別達成度自己評価平均値集計表」と「学生による授業の集計結果」では、本年度は例年通りの内容を公表し、一方、次年度は分析方法を変更することが確認された。「国家試験または認定試験の合格者数者数及び合格率」と「就職率」では従前通りに進めることが確認された。

7) アセスメントプラン<資料7>

アセスメントプランの検討・策定について、教育の質改革検討会議と学部学科に IR 推進センターが協力すること、IR 会議で進捗状況を随時報告することが確認された。

8) 改革総合支援事業と教育の質に係る客観的指標<資料8>

IR 関係の項目について、改革総合支援事業のタイプ1では18点(23点満点)、教育の質に係る客観的指標では19点(19点満点)となる見込みである。本年度、IR 推進センターの役割が完了したことが確認された。次年度に向けて、改革総合支援事業のタイプ1の「② IR 機能強化(外部研修会への講師派遣)」の実現を図り、「①IRに係る専門職の配置」の必要性を検討する。

9) IR 推進センターのホームページの作成<資料9>

IR 推進センターのホームページの作成について、委託業者、価格と作成方式が説明され、意見交換がなされた。引き続き、広報部の協力を得ながら、具体化に向けて検討を進める。

■次回予定 日時 2020年11月10日(火) 13:00～

場所 未定

■次々回予定 日時 2020年12月 8日(火)